

# キャンピングKYOTO

2012/7

Vol.61

編集・発行 京都府キャンプ協会  
〒604-8083 京都市中京区三条柳馬場角 京都YMCA内  
TEL 075-255-4709 FAX 075-255-2087  
E-mail kyoto@camping.or.jp  
URL <http://kyoto.camping.or.jp/>

## 2012総会報告号



表紙は6月例会「本格石窯で手作りピザを焼こう」

お申込・お問い合わせ等はすべて、〒604-8083 京都市中京区三条柳馬場角 京都YMCA三条本館内 京都府キャンプ協会  
事務局までお願いします 電話075-255-4709 FAX075-255-2087 E-Mail kyoto@camping.or.jp

2012年度京都府キャンプ協会総会は6月29日(金)19時00分～20時30分京都YMCA201号室にて実施され、正会員91%の出席で成立しまして、すべての議案及び報告は承認されました。

#### 第1号議案2011年度事業報告

##### I. 会員数報告266名

Aキャンプ・インストラクター資格153名 Bキャンプ・ディレクター2級資格 64名Cキャンプ・ディレクター1級資格 49名

+会費未納者162名

##### II. 指導者資格認定事業報告

資格申請者数20名 認定者数20名

##### III. 指導者養成事業

2011年前期 共催:京都市ユースサービス協会 参加者:6名対前年比1名減

2011年後期共催:京都市ユースサービス協会 参加者:14名対前年比5名増

##### IV. 主催事業(月例会)、受託事業(月例会兼)、

4月(月例会)17日(日)「竹の子掘りと、竹の子料理アラカルト」**BUC認定事業**

会場:青少年野外活動総合センター「友愛の丘」講師:濱野委員 参加者:8名

5月(受託事業兼月例会)3日(火・祝)梅小路公園グリーンフェアー「2011春「みんなで作ろうキャンプクラフト」」会場:京都市梅小路公園 講師:(チーフ)富江委員・岡本・吉田・木村・古島・真名子 参加者:一般100名スタッフ:花脊山の家2名

6月(受託事業)26日(日)『元気で集う2011明日Kyofesta』会場:下鴨神社糺の森 講師:(チーフ)岡本・吉田・木村・富江 参加者:不特定多数

7月(主催事業)10日(日)京都府キャンプ協会30周年記念事業東日本大震災復興祈念チャリティー・キャンプソング・コンサート～とどけ東日本へ元気な歌声～会場:同志社寒梅館ハーディーホール 出演:兼松豊(うた・ギター・たいこ)松崎博彦(うた・ギター)新谷文子(うた)大野綾子(ピアノ)京都府キャンプ協会・京都YMCA・ボーイスカウト京都連盟当日のチャリティー募金額53,745円は公益社団法人日本キャンプ協会へ委託しました。8月・9月は休会

10月(受託事業)1日(土)～2日(日)花脊山の家「自然大好きフェスティバル」講師:(チーフ)岡本・吉田・木村・船越・竹川・真名子 参加者:約100名

11月(月例会)13日(日)リスクマネジメント講習会**BUC認定事業** 会場:京都YMCA 災害に備える一時避難、二次避難までを考える 講師:船越委員 参加者:7名

11月(受託事業)20日(日)～元気で集う2011あすkyofesta～会場:京都御池中学校 講師:(チーフ)岡本・木村・真名子 参加者:午前35名、午後15名

12月(月例会)11日(日)長期宿泊自然体験活動指導者の心得**BUC認定事業** 会場:京都YMCA 講師:岡本委員 参加者:9名

1月(月例会)14日(土)スターウォッチング**BUC**

**認定事業** 会場:宇治市総合野外活動センターアクトパル宇治 講師:吉田委員 参加者:11名

2月(月例会)12日(日)次のキャンプで必ず役立つキャンプソング塾 Part1 **BUC認定事業** 会場:京都YMCA地階マナホール 午前は歌の指導、午後指導方法。主な紹介曲「ひとりじゃないさ」「このキャンプで」「青空さん」「山のように海のように」「手と手と手」「ね」「ピースロード」「たった一度の歌を」「おぼえていよう」「君に会えてよかった」「きみとぼくのラララ」「歌はいつまでも」他 講師:塚原委員 参加者:15名

3月(月例会)4日(日)ダンボールオープンで作る、手作りピザ**BUC認定事業**

会場:宇治市総合野外活動センター「アクトパル宇治」講師:富江委員 参加者:10名

##### V. 会議

理事会2011年6月27日(月)於:京都YMCA三条本館2F201号室

総会2011年6月30日(木)於:京都YMCA三条本館2F201号室

##### 運営委員会

11年4月～12年3月毎月第1月曜19時～21時12回開催

事務局関係

11年5月21日H23年度第1回(社)日本キャンプ協会総会、11年5月22日CampMeetinginJapan2010(事務局長)

5月22日H23年度全国事務局担当者会議、ブロック会議(副会長、事務局長)

7月10日(日)京都府キャンプ協会30周年記念チャリティーコンサート同志社今出川キャンパス寒梅館

7月10日(日)近畿ブロック会議京都平安ホテル 副会長、岡本理事

12年3月4日関西野外活動ミーティング2012、6団体のポスター発表がありました。シンポジウムでは3名のパネラーより各々お話いただきました。研究発表5題実践事例発表13題 参加者102名 会場:ドーンセンター

(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

12年3月24日平成23年度第2回総会平成24年度事業計画・予算等を審議

12年3月25日平成23年度第3回全国事務局担当者会

##### VI. 協力・後援事業

1. 関西野外活動ミーティング(後援)

3月4日10時～於:関西国際大学(尼崎)

主催団体関西野外活動ミーティング実行委員会

##### VII. 事務局事業

1. 役員・理事・各委員会委員あて「事務局通言」毎月発行

2. ホームページの更新月間平均4回

3. キャンピングKYOTO発行2011年5月、7月、11月

## Ⅷ. 団体登録

1. (社)日本キャンプ協会
2. 京都青少年ゆめネットワーク中村彰利委員
3. 京都府青少年育成協会
4. 人づくり21世紀委員会幹事岡本理事
5. 京都市生涯学習財団評議員神崎副会長
6. 京都市野外活動施設「花背山の家」特別委員会委員岡本理事

### 第2号議案

京都キャンプ協会2011年度収支決算書（自2011年4月1日至2012年3月31日）

は満場一致で承認されました。

科 目	11決算	摘 要
収入の部		
1 会費	617000	会費（プラス登録費含む）
2 寄付金	50,000	YMCA他
3 事業収入	868,760	
4 雑収入	280	普通預金利息
5 補助金	126800	日本協会交通費/花脊/緑化協会他
当期収入合計	1,662,840	
前年度繰越金	1,531,779	
合 計	3,194,619	
支出の部		
1 会議費	78580	総会・日本協会総会・近畿ブロック他
2 旅費交通費	107640	総会(日本協会)・近畿ブロック他関連
3 事業費	835634	
4 事務費	418,486	
5 雑費	60,105	団体登録・慶弔他
当期支出合計	1,500,445	
予 備 費	0	
収支差額	1,694,174	
合 計	3,194,619	

### 監査報告

2011年度事業及び会計について、監査の結果適正かつ正確なることを証明致します。但し、次期繰越金\*1,694,174円が全額預金としてあります。尚、2012年3月末日において積立金として（定期3,007,443円：普通69,716円）3,077,159円、および30周年記念事業残金582,807円が別途預金としてあります。2012年6月27日 監事井上哲士<sup>㊞</sup> 監事橋本紀美子<sup>㊞</sup>

### 第3号議案

京都府キャンプ協会2012年度事業計画は満場一致で承認されました。

京都キャンプ協会は1980年の設立以来、京都府下及び市内におけるキャンプの発展と指導者の養成と結集を願って、会員の方々によって運営されてきましたが、この4月より日本キャンプ協会が公益社団法人への移行に伴い、本協会の規約・会則と合わせて名称を「京都府キャンプ協会」変更し、新たな歩みを始めました。おりしも今日の社会においては、昨年3月に起きた東日本大震災により、人間の生き方や価値観、安全に対する考え方、共に生きることの喜びや重要性について考えることが必要とされています。そして、一人ひとりのいのちの重さや尊厳の課題について真摯に向かい合うことが求められています。また自然環境とエネルギーの問題についても、同様に新しい解決策が求められています。

このような諸課題に対しての早急な取り組みと共に、次代を担う子どもたちや青少年が自ら考え、新しい価値観を創り出す手段として、体験学習として代表的なものである「キャンプ」「自然体験活動」への期待がますます大きくなっています。まさに、その存在を問われているといっても過言ではないでしょう。

これらことから、私たちキャンプ指導者は何ができるのか、何を指導しないといけないのかということを中心に考えておくことが求められています。更には学校現場との連携や協力、日ごろ私たちが計画・実施しているキャンプのあり方、指導者の養成、キャンプの様々な報告や発信についても同様です。私たちが「大好きな」キャンプをあらためて見つめなおし、大切に育て、社会に発信することが、今こそ必要なのではないでしょうか。本協会は今年度におきましても、指導者養成事業として年2回のキャンプ・インストラクター養成講習会の実施、野外技術ならびに指導技術のスキルアップをはじめとした月例会の充実、そして一般市民を対象としたプログラム・クラフト指導と紹介などを行い、キャンプ協会の目的である指導者の養成とキャンプの普及活動に取り組めます。

更には、日本キャンプ協会が提案していますブラッシュアップアンドコミュニケーション（Brushup&Communication）の実施、近畿圏キャンプ協会との協働による指導者養成、研修会を計画しています。また、新規インストラクターならびにディレクター資格者の拡充を目指し、キャンプ活動の普及とともに、広報誌やホームページを始めとした広報の強化をはかっていくものとします。

そして、新しい規約・会則のもとでの「会員交流」「会員懇談会」の実施や、キャンプ関係者が一同に会することができる事業・プログラムを検討し実施することにより、協会の運営基盤を強化することをはかるものとします。

1. キャンプの普及活動の強化をはかります
  - ① 広報協会の案内作成・ホームページの維持・キャンピングの発行（年4回）
  - ② 普及事業花背山の家主催事業（10月）などへの協力他
  - ③ キャンプ愛好者や会員が集えるプログラムの企画実施
2. 協会運営および事業への参画者の拡充と指導者の資質向上、協会の基盤強化
  - ① 委員会および普及事業への参画者拡充
  - ② キャンプに関する事業の定期的実施（月例会の実施）
  - ③ 会員交流、会員懇談会などの企画実施
3. 指導者養成の実施と資質向上
  - ① インストラクター養成講習会の実施（春・秋）
4. 日本キャンプ協会、地域協会をはじめ関係団体との協力・連携

- ① 日本キャンプ協会事業およびブロック会議への積極的な参加・参画します
- ② 東日本大震災への支援を関係諸団体との連携により取り組みを行います
- ③ 「関西野外活動ミーティング2013」への協力をします
- ④ 広報活動の連携強化
- ⑤ 花脊山の家で行われている「自然体験活動」への協力をします

#### 第4号議案

京都キャンプ協会2012年度収予算書（自2012年4月1日至2013年3月31日）

は満場一致で承認されました。

#### 収入の部

科目	12予算	摘要
1 会費	600,000	
2 寄付金	50,000	
3 事業収入	740,000	
4 雑収入	1,000	
5 補助金	150,000	
当期収入合計	1,541,000	
記念事業より繰入	582,807	30周年記念事業費残を繰入
前年度繰越金	1,694,174	
合計	3,817,981	

#### 支出の部

1 会議費	100,000	
2 旅費交通費	150,000	
3 事業費	942,000	
4 事務費	500,000	
5 雑費	200,000	団体登録・慶弔他
会員交流事業	1,000,000	会員交流・懇談・新規事業
当期支出合計	2,892,000	
予備費	925,981	
収支差額	—	
合計	3,817,981	

#### 第5号議案

2012・2013年度京都府キャンプ協会理事選任の件

協会規約第8条理事及び監事は、会員総会において選任し、会長・副会長・専務理事・常任理事は理事の互選によって定める。

規約に従い次の方を理事として提案し満場一致で承認されました。 敬称略順不同

黒木保博 神崎清一 浅川栄次郎  
濱野一彦 岡本ヒロシ 村上高久  
遠藤 浩 小嶋 薫 真名子泰二  
柳沢 傳 中村三之助

規約に従い次の方を監事として提案し満場一致で承認されました。 敬称略順不同

井上哲士 久保田展史

#### 第6号報告

2012年度京都府キャンプ協会委員委嘱報告  
協会規約第17条により理事会は次の会員を委員として委嘱しました

敬称略順不同

森下克徳 吉田穂積 古島光司 木村和正  
船越義正 塚原誠一 中村彰利 竹川尚美

濱野一彦 飯田敏弘 米田光晴 青田真樹  
富江美智子 岡本ヒロシ

総会の終了後、公益社団法人 日本キャンプ協会  
2012年度総会報告についてPDFを使って上映しました。

#### 5月々例会梅小路公園グリーンフェア2012春 「みんなで作るキャンプクラフト」

2012年5月3日（木・祝）京都市梅小路公園にて10時～16時梅小路公園の「グリーンフェア2012春」において「みんなでつくるキャンプクラフト」のテーマで勾玉作りの指導をしました。

お客さんは80名の参加がありました。岡本委員をチーフに木村委員、吉田委員、飯田委員、宮原さん、服部さん、真名子、計7名が指導に当たりました。



#### 6月々例会京都YMCAリトリートセンター 「本格石窯で手作りピザを焼こう」

2012年6月10日（日）薄曇りの空を心配しながら、例会兼BUCとして、今回は、つい最近完成した京都YMCAリトリートセンターの本格石窯を使って、手作りピザを焼くというプログラムに挑戦しました。生地も、ソースも全て手作りで、熱々の焼き立て手作りピザを食べたいという人が16名の参加され、みんなでワイワイ焼きました。トッピングは20品目近く揃えて豪華なメニューで、本格的に発酵させた生地で思い思いの具材をのせて、ほぼ一人2枚あて平らげて、身も心も満腹でした。天候も午後からは晴れてきて、暑くもなく寒くもない程度の爽やかな過ごしやすい日で、最後に参加者の方の差し入れのスイカをデザートに頂いて、次回を楽しみに散会しました。

